

宮城第一高校グラウンド用地としての国有地の有効活用事例

売却された国有地の概要・活用状況

- 本財産は、仙台市青葉区角五郎に所在し、税務大学校仙台研修所として使用されていましたが、同研修所の移転により、東北財務局に引き継がれたものです。
- 東北財務局では、本財産を国有財産東北地方審議会の諮問を経て、宮城県に学校（グラウンド）用地（約9,200㎡）として売払しました。
- 宮城第一高校では、令和2年11月から第2グラウンドとして本格供用開始。全面美しい人工芝に覆われたグラウンドで、体育の授業のほか、部活動（サッカー部、ハンドボール部、陸上部、ソフトボール部）で活用されています。

利用者の立場から（生徒・先生の声）

[女子サッカー部キャプテン 宮崎さん]

かつての間借りしていたグラウンドに比べ、第2グラウンドは校舎からも近く、広いコートで思う存分ボールを蹴ることができます。男子サッカー部とも頻りに試合形式で練習できるようになり、技術や走力も以前よりつき、チーム全体が数段レベルアップしました。

雨が降った翌日でも外でサッカーができる（しかも部活後の後片付けが楽!!）などサッカーをするには最高の条件が整っていると思います。新入部員も多く入ってくれました。今後ともこのグラウンドを思う存分活用して、これまで同様、宮一らしい楽しいサッカーをしていってほしいです。



（整備されたグラウンド）



（練習風景）

[女子サッカー部顧問 會田先生]

県立高唯一の人工芝のグラウンドは素晴らしいピッチです。生徒の練習モチベーションは上がり、擦り傷等の怪我をすることもありません。また公式戦と同じ環境で練習ができることは大きなメリットです。

宮城第一高校の校風は「自主自律」。生徒自らで部活を運営、練習の工夫をしている宮一サッカー部です。日々の練習を楽しみ、笑顔で最後まで諦めず、良いプレーを1つでも多く見せるような選手・チームとなるよう、このグラウンドで声かけや支援をしていきたいと思っています。

写真及び生徒・先生の声は宮城第一高校のご協力に基づき作成しています。



（週5日グラウンドで練習する女子サッカー部の皆さん）